

電気新聞デジタル の使い方

「電気新聞デジタル」の機能についてご紹介します

電気新聞デジタルとは？

電気新聞デジタルの特徴

いつでもどこでも、速く、深く

記事検索や保存ができる

平日午前6時
配信

気になる記事
は通知も

バックナン
バーも読める

モバイル対応

サービス開始時期について

2017年1月

電気新聞デジタル創刊

PCやモバイルで電気新聞が読める
電子版「電気新聞デジタル」を創刊



2017年4月

データサービス開始

2003年以降、または過去1年分の記
事検索が可能なデータサービス開始

※詳しくは電気新聞ウェブサイトをご覧ください

電気新聞デジタルの活用法

主要ニュースをひと目で把握

2016年
11月 1日 火曜日 | 2016年11月1日

ホーム 文字サイズ 小 中 大 ログアウト

電気新聞

ようこそ 電気新聞 さん

ホーム

今日の新聞

バックナンバー

検索 (2014年4月以降)

検索 (2008年3月～2014年3月)

記事クリップ

【記事二次利用について】

インフォメーション
お知らせ
テスト運用スタート
(2016/03/01)
ホーム画面について

障害・メンテナンス情報
2016.02.19
ただいま障害・メンテナ
ンス情報はございません

Shinbun NET
www.tokyo-sof.co.jp

スマートフォン版
はこちら

市場整備WG、容量メカニズム導入を了承／「各種制度と整合必要」

総合資源エネルギー調査会（経済産業相の諮問機関）の市場整備ワーキンググループ（WG、座長＝横山明彦・東京大学大学院教授）は31日の会合で、容量メカニズムや地域間連系線利用ルールの見直しに関して議論した。会合では中長期に必要な供給力を、容量メカニズムの導入によって確保していく方針を了承。小売電気事業者が中長期にわたり、供給力の確保義務を果たす一環として容量メカニズムを位置付ける事務局案に異論は出な ...
[記事全文]

「福島第一廃炉費、『改革』で捻出」／東電HD廣瀬社長、国民負担避ける

東京電力ホールディングス（HD）の廣瀬直己社長は31日、東京・内幸町の本社で開いた会見で、福島第一原子力発電所の廃炉について「厳しい環境下でも非連続的改革を断行し、利益を創出することで国民にご負担をお掛けすることなく、費用を捻出していく」と語った。社債市場への復帰に関しては「私どもとして年度中に社債を発行する考えには変わりはない」と見通しを述べた。廣瀬社長は福島に対する責任を果たすことが「当社 ...
[記事全文]

鍛造鋼炭素偏析問題／軽水炉各社が濃度「規格内」と結論、規制委へ調査結果報告

フランスの原子力発電所の原子炉容器や蒸気発生器（SG）などに使われている鍛造鋼で、炭素濃度にむらができ、強度低下につながる恐れのある『炭素偏析』が見つかった問題を巡り、軽水炉を保有する各社は31日、原子力規制委員会に調査結果を報告した。材料証明書などを確認した結果、いずれも「規格を上回る炭素濃度を含む可能性はない」と結論付けた。規制委は内容を精査した上で定例会合で再度審議する。 同日午後4時の ...
[記事全文]

- 四電工が「中期経営指針2020」策定／体質強化へ100億円投資
- ケイ・オプティコム、大阪マラソンを支援／通信環境など整備、大会盛り上げに貢献

最低ランキング

- J E R Aが初の事業計画／会長にゴードンカー氏、30年度純利益2800億円へ
- 再処理機構の安全投資「遅滞なく」支払い／規制庁とエネ庁、法令協議で確認
- 小売り全面自由化、8割が切り替え検討／電通が調査、消費者の関心高まる
- J E R A 事業計画／火力1200万キロワット新增設、LNG取引も積極展開
- 福井県など、廃炉本格化へ開電・原電・原子力機構と協定／地域振興など柱に

ホーム画面では当日の主要ニュースのほか、ニュースランキングも表示されます。手早く、その日のニュースを把握することができます。

右横のインフォメーションには、電気新聞からのお知らせや、カラー特集などの情報も掲載されます。

今日の紙面を読む(1)

記事を全部読む場合は、サイドバーの「今日の新聞」タブをクリックします。



今日の紙面を読む(2)

各面の記事や紙面イメージがあり、全体のイメージがつかめます

1面 1面

東電F&PとMHPS、火力O&M事業で提携／比
で遠隔監視試験、稼働率向上狙う

- ◆ 東北電力など3社、世界最大級の水素システム検討に着手／福島県で
- ◆ JERA、石炭調達でスベック炭を拡大／「品種指定」は30年までに1割に
- ◆ 日立・東芝・三菱重工、原子燃料事業を来春にも統合へ／再稼働遅れ響く
- ◆ アーク灯、LEDで復元／東京・銀座に「4代目」
- ◆ 日本原燃・ウラン濃縮工場、年内にも審査書案／安全審査、原燃説明が一巡
- ◆ EU、きょうの臨時環境相会合でパリ協定の締結方針を決定
- ◆ 【焦点】2016年9月30日付
- ◆ 【広告】クロセ



紙面イメージ

● ページのトップへ

今日の紙面を読む(3)

記事をクリックすると、当該記事が開きます。

記事画面では、記事本文がテキストで表示されます。

右の紙面イメージで、どの場所にその記事が掲載されているのかを表示します。

1面トップに掲載されたことを赤で表示

東電F&PとMHP S、火力O&M事業で提携／比で遠隔監視試験、稼働率向上狙う

東京電力フュエル&パワー（F&P）と三菱日立パワーシステムズ（MHP S）は29日、あらゆる火力発電設備を対象にしたO&M（運用・保守）サービスの事業化に向けて、業務提携を締結したと発表した。I o T（モノのインターネット）を駆使した遠隔監視などにより、発電所の稼働率向上と燃料費削減を実現する。まずは、東電F&Pと中部電力の合併会社J E R Aが資本参画するフィリピンのT e a Mエナジーのバグピラオ発電所で、試験的な遠隔監視を行う。（2面にキーワード）

東電F&Pの佐野敏弘社長とMHP Sの西澤隆人社長が29日、都内で基本合意書を締結した。火力発電分野でのO&Mサービスの提供に向けて、電力会社とプラントメーカーが提携するのは国内初だという。両社は、東電F&Pが蓄積してきたO&MのノウハウとMHP Sが保有する設計・製造・建設のノウハウを組み合わせたサービスプラットフォームを共同で開発。発電所運営の高度化を可能にするソリューションを国内外の様々な発電事業者に提供する。

具体的には、I o Tなどの技術を生かし、ガスタービンや蒸気タービン、ボイラーなどの火力発電設備の運転データを解析。稼働率の向上やメンテナンスの最適化による燃料費や保守費の削減を図る。将来的には、人工知能（A I）による設備の自動制御なども提供したい考え。



1面 記事一覧

● 東電F&PとMHP S、火力O&M事業で提携／比で遠隔監視試験、稼働率向上狙う

● 東北電力など3社、世界最大級の水素システム検討に着手／福島県で

今日の紙面を読む(4)

紙面イメージ部分



記事右横に表示される紙面イメージの下部に「紙面を拡大」「記事を拡大」というボタンがあります。

「紙面を拡大」をクリックすると、紙面全体が詳細に表示されます。

「記事を拡大」をクリックすると記事が切り抜きの形で表示されます。

紙面の形で記事を読むことができます。

記事を印刷する

記事画面の左サイドバーにある「印刷・保存用を開く」を利用すると、紙面全体や記事の印刷が可能です。

(注)新聞記事には著作権が発生します。
著作権法上の「私的使用」や「引用」の範囲を超えてのご利用は、弊紙の使用許諾と利用料が必要になります。

- ☒ 紙面PDF
- ☐ 記事切抜きPDF
- ☐ 記事テキスト

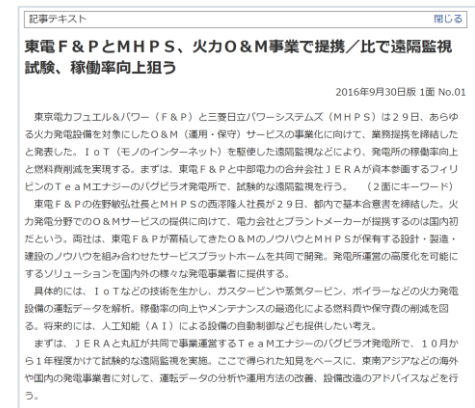
 印刷・保存用を開く



紙面PDFまたはJPEG



記事切り抜きPDFまたはJPEG



記事テキストPDFまたはJPEG

※基本的な電子版プランでは出力方式はJPEGとなります

記事を保存する



記事画面のサイドバーにある「記事をクリップ」をクリックすると、当該記事が保存されます。その際、自分でコメントをつけることができます。

クリップした記事は「記事クリップ」内に保存されます

保存記事フォルダにコメント付きで格納されています

※電子版プラン、セットプランでは記事クリップはご利用いただけません。

気になる記事を自動クリップ

記事クリップ画面に「キーワード検索フォルダ」が用意されています。

キーワードを登録すると、毎日の紙面から自動的に関連記事が抽出され、フォルダに入ります。抽出された記事は3日間、保存されます。

メールアドレスを登録しておくに関連記事があった場合、午前7時15分にメールが送信されます。

フォルダは4つまで作成できます。

※この機能は電子版またはセットプランのうち、データプラン、DXプランでご利用いただけます

キーワード検索フォルダ

指定したキーワードに関係する記事を自動抽出します。保存する場合は、記事を開いて、「記事をクリップ」ボタンを押してください。

メール通知機能で使用するメールアドレス： test@denkishimbun.com [編集](#)

メール通知関連

AUTO 1

「原子力規制委員会」を見る
「11記事」クリップされています。

【自動クリップ1条件設定】 ☒ 有効 ☒ メール通知

フォルダ名： [原子力規制委員会](#)

すべての検索ワードを含む： [原子力規制委員会](#)

いずれかの検索ワードを含む：

この検索ワードを含めない：

[編集](#)

AUTO 2

「電力自由化」を見る
「8記事」クリップされています。

【自動クリップ2条件設定】 ☒ 有効 ☒ メール通知

フォルダ名： [電力自由化](#)

すべての検索ワードを含む： [電力自由化](#)

いずれかの検索ワードを含む： [インバランス](#) [ネガワット](#) [容量市場](#)

この検索ワードを含めない：

[編集](#)

AUTO 3

「東京電力」を見る
「29記事」クリップされています。

【自動クリップ3条件設定】 ☒ 有効 ☐ メール通知

フォルダ名： [東京電力](#)

すべての検索ワードを含む： [東京電力](#)

いずれかの検索ワードを含む：

この検索ワードを含めない：

[編集](#)

AUTO 4

未設定
条件を設定して下さい。

【自動クリップ4条件設定】 ☐ 有効 ☐ メール通知

フォルダ名：

すべての検索ワードを含む：

いずれかの検索ワードを含む：

この検索ワードを含めない：

[編集](#)

記事を検索する(1)

電気新聞デジタルの記事の検索機能は2種類あります

検索した記事はクリップ(保存)も可能です

※クリップ機能は電子版データプラン、電子版DXプラン、セットデータプラン、セットDXプランが対象です。

※記事が検索できる期間はプランによって異なります



検索(2014年4月以降)とは、紙面イメージ付きの検索機能です。

2016年 11月 1日 火曜日 | 検索(2014年4月以降)

電気新聞

検索する: 記事検索 画像検索 電力自由化

検索結果: 並びかえ: [日付の新しい順] 160件 1/16

- 九州電力 北海道電力 東京電力 電力自由化 東北電力 日本電気協会 中国電力 風のゆくえ 佐藤佳季 会見 ガス 福井 三菱電機 電話 次期 マルミローリ 神津カンナ これからのエネルギー委員会 東北 電
- 2016年10月31日版 1面 1面 No.08
- 【オピニオン】がんばれ関電 電力自由化をにらみ、経営が原子力技術部隊の強い新規開発志向を抑え、既存プラントの安全維持、安定運転に傾注してきた結果と考えられる。 2016年10月31日版 14面 総合企画 No.02
- 2016年10月27日版 1面 1面 No.03
- 2016年10月27日版 2面 総合 No.09
- 2016年10月24日版 1面 1面 No.01
- 2016年10月21日版 3面 電力・市場/エネルギー No.06
- 2016年10月21日版 3面 電力・市場/エネルギー No.06

Shinbun NET www.tokyo-sof.co.jp

広域機関が長期方針/既設システムを最大活用、成長期から転換

電力広域的運営推進機関(広域機関)は、将来の基幹連系システムの在り方を示す「広域系統長期方針」の方向性を決めた。電源の設備容量に応じて系統を増強してきた需要成長期の発想を転換し、既設設備を最大限活用する方針を打ち出す。「広域系統整備委員会」(委員長=古城誠・上野大学教授)で検討を進め、年度内に長期方針を策定する。

電力自由化やFIT(再生可能エネルギー固定価格買取制度)の導入により、系統接続を希望する電源は急増した。ただ、需要が伸びない中で設備容量に応じて系統を増強すると、将来的に過剰設備を抱えるおそれがある。広域機関は、流通設備の利用効率を高めることが先決と判断。それを確認するためにエリア内...

[全文表示]



記事を検索する(2)

検索(2003年1月～2014年3月)とは、同期間の記事の検索機能で、テキストベースの閲覧となります。

2016年
11月 1日 火曜日

ホーム > 検索(2003年4月～2014年3月) 文字サイズ [小] [中] [大] ログアウト

検索(2003年4月～2014年3月)

電気新聞
ようこそ 電気新聞 さん

検索する 電力自由化 検索

※記事クリップの対象外です
※現在、2010年4月～2014年3月までとなっています

検索結果

並びかえ: [日付の新しい順] 244件 1/25

エネ総工研月例研究会 「ネガワット」 戦略を解説 自由化テーマに講演

今回は「コージェネレーション」と「電力自由化」の2テーマで専門家を招き講演を実施。

2014年3月31日版 3面 No.25

自由化 電気 日本
電気協会 これからの
エネルギー委員会
風のゆくえ tis
世界エネルギー会
議 神祿 坂梨義彦
神津カンナ 廣江
謙 福田会長 中部
電力 山口学 電気
事業法改正案 東京
国際フォーラム 相

2014年3月31日号 3面 No.25

エネ総工研月例研究会 「ネガワット」 戦略を解説 自由化テーマに講演

エネルギー総合工学研究所(白土良一理事長)は28日、都内で第2回月例研究会を開催した。今回は「コージェネレーション」と「自由化」の2テーマで専門家を招き講演を実施。今後の電力・エネルギー市場を見通す上で重要となる、技術と制度の最新動向を解説した。

エネット経営企画部の谷口直行部長は、電力自由化における同社のスマートサービスへの取り組みを解説。まず新電力(特定規模電気事業者)に共通した課題として「ネガワット」を挙げた。通常の供給力と同様の価値を持つことになると考えられ、予備力の代替や二酸化炭素(CO2)排出削減対策として重要な意義を持つと指摘した。

その上で、同社ではポイント・・・

【全文表示】

3面 記事一覧

- エネ総工研月例研究会 「ネガワット」 戦略を解説 自由化テーマに講演
- 東邦ガスが中間経営計画を発表 電力分野強化を明示 供給メニュー拡充へ
- 5月総調 電力・ガス全社で上げ 消費増税受け影響額縮く
- 【供給計画の概要】東京電力
- 【供給計画の概要】四国電力

※電子版DXプラン、セットDXプランの方に限りです
※記事クリップ機能には対応していません

バックナンバーを読む

バックナンバーページで過去の新聞を読むことができます(2014年4月以降)

2016年 11月 1日 火曜日 | 2016年11月1日

電気新聞
ようこそ
電気新聞 さん

ホーム
今日の新聞
バックナンバー
検索 (2014年4月以降)
検索 (2003年1月～2014年3月)
記事クリップ

バックナンバーを検索

2016年 11月

日 月 火 水 木 金 土

		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

【記事二次利用について】

インフォメーション
お知らせ
デスト運用スタート
(2016/03/01)

ホーム・バックナンバー 文字サイズ 小 中 大 ログアウト

おもしろ記事

- 市場整備WG、容量メカニズム導入を了承／「各種制度と整合必要」
- 「福島第一廃炉費、『改革』で捻出」／東電HD廣瀬社長、国民負担避ける
- 鍛造鋼炭素偏析問題／軽水炉各社が濃度「規格内」と結論、規制委へ調査結果報告
- 四電工が「中期経営指針2020」策定／体質強化へ100億円投資
- ケー・オブティコム、大阪マラソンを支援／通信環境など整備、大会盛り上げに貢献

紙面一覧へ

エネルギーミックスってなんだろう...

2016年11月1日 2016年10月31日 2016年10月28日 2016年10月27日 2016年10月26日 2016年10月25日

前号

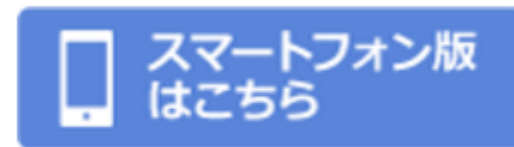
カレンダーでも探せます

※閲覧可能なバックナンバーの期間は、ご契約プランによって異なります

直近の新聞はここから

モバイル版 電気新聞デジタルの使い方

モバイル用URL



スマートフォンやタブレットなどモバイル環境下でも新聞の閲覧が可能です。

スマートフォン版用URLは左サイドバー下の上記マークをクリックするか、電気新聞ウェブサイトのスマートフォンサイトからログインしてください(P23参照)

モバイルで読む

モバイル用URLを開くと最新刊の記事一覧ページが開きます。



※最新刊を含む5日分の紙面を閲覧いただけます

(注) モバイルは閲覧機能のみとなります。検索はできません

ログイン方法

電気新聞ウェブサイトからのログインが便利です

電気新聞ウェブサイトから

電気新聞ウェブサイト(www.denkishimbun.com)の左上にあるログインボタンから電気新聞デジタルにログインしてください



電気新聞デジタルのログイン画面に移ります



ウェブサイトの記事からも

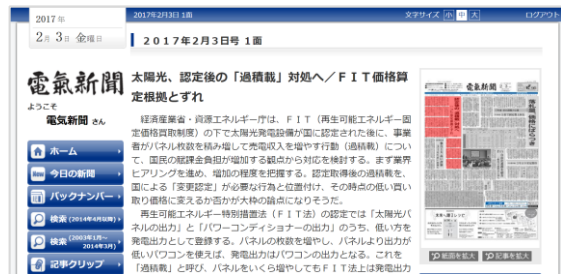


ウェブ掲載記事の「この記事の続きは…」から

ログイン前の場合はログイン画面に



ログイン済みであれば記事に



スマートフォンの場合

電気新聞ウェブサイト(www.denkishimbun.com)スマホ版にアクセスしてください

メニューボタンを押す

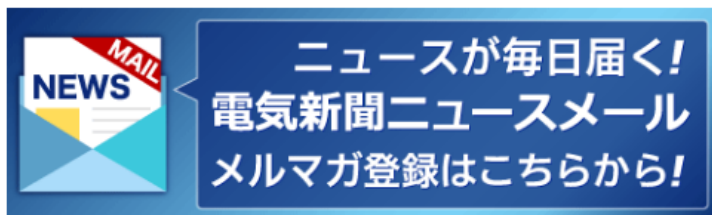
電気新聞デジタルログインをクリック

電気新聞デジタルのログイン画面に移ります。
なお、スマホ版ウェブサイトの記事画面からログインできます

ユーザID
パスワード
ログイン

ザID・パスワードをご使用ください。
※ご利用につきましては、下記のご利用規約に同意したものとみなします。

メルマガ購読でさらに便利に



電気新聞ウェブサイトの右サイドバーにあるメルマガ登録バナーをクリックして電気新聞ニュースメールに登録すると...



平日午前6時15分前後に主要記事の見出しと、電気新聞ウェブサイトの記事URLが届きます。出勤前に電気新聞の主要な記事をチェックできます。



通勤中に電気新聞デジタルにログインして、気になった記事を中心に、電気新聞を熟読。始業前に情報収集は終了!

メールマガジンは、
すべての方に、ご利用いただけます

※同一IDでの複数同時ログインはできません
※ID、パスワードは個人のご利用に限定させていただきます
※新聞記事には著作権が発生します。多数の印刷・記事共有には料金が発生しますので、
ご注意ください。
※事前に通告なく仕様を変更することがあります
※長期間が対象の記事検索や記事クリップ機能がご利用いただけるデータプラン、データ
DXプランは2017年4月からのサービスとなります